

公民館だより 11月号

☎689-0501 鳥取市青谷町青谷 4082-1

電話 37-7420

FAX 85-0155

e-mail cc-aoya@it.city.tottori.tottori.jp

「青谷地区大運動会」開催！

9月29日、曇り空のなか、青谷小学校グラウンドにて「全力、全進ゴールまで!!」をスローガンに、各町区の皆さんが全力で楽しく体を動かしました。



小学生100m走



未就学児 かけっこ



大漁だ!!



花吹雪

「分館ソフトバレーボール大会」結果

男子

- ・優勝 駅前 緑町
- ・2位 浜町 東町
- ・3位 灘町 前町

女子

- ・優勝 駅前
- ・2位 西町
- ・3位 前町 灘町

＜ようこそ花壇リニューアル＞
ボランティアのみなさん、小学生のみなさん、本当に有難うございました。



参加者募集

1 太鼓の達人 2回目

◇日時 11月8日(金) 午後10時～11時30分

◇講師 公民館職員

◇参加費 無料 ◇募集人数 10名



2 スマホ教室

◇日時 11月11日(月) 午前10時～11時30分

◇講師 au職員

◇参加費 無料 今使用しているスマホをお持ちください。

◇募集人員 10名

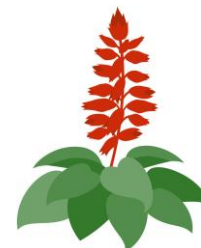
3 大人のバス旅

◇日時 11月14日(木) 午前8時出発

◇場所 秋の花咲くとっとり花回廊と
ワクワク体験の旅

◇参加費 4,000円

◇募集人員 18名先着順



4 ペーパーデコレーション(大人)

◇日時 11月17日(日) 午後13時30分～15時30分

◇講師 ペーパーデコレーション フタバ 岡村真由美さん

◇参加費 700円

5 花王健康教室

◇日時 11月19日(火) 午前10時～11時30分

◇講師 花王グループカスタマーマーケティング(株)

◇参加費 無料

◇募集人員 15名

6 小地域懇談会

わたしのトリセツをつくる

～人どちがってあたりまえ

自分らしく生きていくために～

◇講師 鳥取市情報センター 福壽みどりさん

◇日時 11月17日(日) 午前10時～11時30分

多くの方の参加をお待ちしております。

※上記募集の開催場所は青谷地区公民館です。

また、詳しくは回覧チラシをご覧ください。

11月の予定



日	曜日	行事	教室・サークル等
1	金	子どものバス旅 8:50 集合 館内清掃	
2	土	ペタンクをやってみよう 10:00	
3	日	文化の日	
4	月		ミニランポリン 16:00
5	火		パッチワーク 9:30
6	水	こっこちゃんクラブ 10:00 ＊あおやキッズ寺子屋 15:30	生命の貯蓄体操 13:30
7	木		青谷元唄貝殻節保存会 13:30 日本吟翔会青谷支部
8	金	太鼓の達人 10:00 のびのび健康教室 13:30	
9	土		シャドーボックス 13:00
10	日		ミニランポリン 16:00
11	月	スマホ教室 10:00 キットによる手芸教室 13:30	パッチワーク 9:30
12	火		
13	水	＊あおやキッズ寺子屋 15:30 ミニランポリン教室 15:45	生命の貯蓄体操 13:30
14	木	大人のバス旅 8:00 出発	小筆の会 13:00 日本吟翔会青谷支部 19:00
15	金	バスケ・卓球大会抽選会 19:00	ちぎり絵 13:30
16	土		
17	日	小地域懇談会 10:00 ペーパーデコレーション(大)13:30	ミニランポリン 16:00
18	月	クリスマスリース作り 13:30	パッチワーク 9:30
19	火	花王健康講座 10:00	なりすな介護の日 13:30
20	水	不法投棄パトロール 9:00 ＊あおやキッズ寺子屋 15:30	生命の貯蓄体操 13:30
21	木		青谷元唄貝殻節保存会 13:30 日本吟翔会青谷支部 19:00
22	金	のびのび健康教室 13:30	
23	土	勤労感謝の日	
24	日	バスケットボール大会 9:15 卓球大会 13:30	ミニランポリン 16:00
25	月	ガラスアート教室 13:30	パッチワーク 9:30
26	火		
27	水	＊あおやキッズ寺子屋 15:30	大正琴 9:30 生命の貯蓄体操 13:30
28	木		小筆の会 13:00 日本吟翔会青谷支部 19:00
29	金		
30	土		シャドーボックス 13:00



よらいいや
よらいいや

公民館



災害への備え

9月28日(土)、前町区の防災訓練がありました。本当に津波が来たらどうするのか、私自身も興味があったので、避難場所の青谷小学校を取材しました。

9時には役員が続々と集まり、準備と綿密な打ち合わせをして10時に地震が起き、津波が来るという想定で訓練が行われました。

やはり1月1日の能登半島地震の印象が強いようで、皆さん真剣に取り組んでおられました。区長の国森洋さんは、「救援物資はすぐには届かないので、3日分くらいの食料や非常持出の用具は揃えることと、家族のことは家族で把握することが大切」と語っておられました。



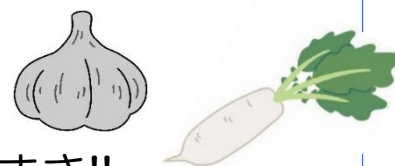
真剣で張り詰めた空気の中、防災訓練が行われた。



非常持出袋。準備ができていると、いざというとき安心。家にありますか？



とくさんの畑日記



大根 その後・・・3回目の種まき!!

先月号で、暑さのために大根の芽が出ず、2度目を蒔いたと書きましたが、その後は芽が出、やれやれと思っていた。しかし、今度は下のように虫に食われて散々でした。写真のような黒い虫が数匹いたので「犯人はお前か!!」という感じでした。調べてみると、「ダイコンハムシ」という、名前の通り大根の葉を好んで全部食べてしまう虫でした。この日は30匹くらい潰しました。そして、悔しいけれど3回目の種蒔きをしました。薬は使いたくないので、見付けて潰すしかない……。



痛々しい大根の葉。ダイコンハムシは、見つかるとうちに足を葉から離して、土に紛れて逃げる。本当に見えなくなるので、捕りづらい。



時期をずらした3枚の名札が並ぶ。最後のは遅れて採れる種



【ダイコンハムシ】

こいつが大根の葉をガツガツ食べる。

シリーズ 知っていましたが、青谷のこと？

青谷木綿を知らない…多分こうだったんじゃないか劇場

「青谷木綿」というものがあつたらしいということは、新聞やニュース、青谷高校関係でご存知の方が多いと思いますが、いろいろな情報が繋がっていないので、大雑把にまとめてみました。青谷木綿を作っていた人の子孫は見つからず、記録として残っているものも少ないので苦労しました。そういう理由で、青谷木綿に関係ありそうな人から聞いたことを元に、「多分こうだったんじゃないか劇場」を作ってみました。

江戸時代末期、青谷では海岸線一帯の丘陵地(ジオパーク内)で綿をたくさん栽培していました。今の青谷小学校の辺りにあった段々畑で栽培されていたという話もあります。綿は、鳥取藩の主要作物〔米、鉄、綿〕であり、勝部川下流の芦崎(浜町の川側)から北前船で大阪へ出荷しました。県内では、西部の伯州木綿が有名でしたが、東部では因州木綿が主力で、青谷からの出荷が多かったため青谷木綿と言われたようです。

しかし、明治時代に入ると国の殖産興業政策もあり、養蚕業が盛んになってきました。絹と木綿とは用途が違っているので、どちらも作ればよいようなものですが、当時の木綿づくりは副業なので、値段の高い生糸をつくるために蚕を飼い、餌の桑を作るようになったのではないかと思います。また、外国から安い綿や織機が入ってきたのも影響して、青谷木綿は繁盛しなくなったようです。多くの祖父母世代に聞いても、ご先祖様が蚕を飼っていたという家はたくさんありますが、綿を栽培していたとか織っていたという話は聞きません。そのような理由で青谷の人に青谷木綿のことを聞いても、ほとんど知られていないのでしょ。

しかし、青谷高校が青谷学として青谷木綿を全国に知ってもらうため、「青谷木綿の復活」をテーマに研究しました。そして、令和元年度の「山陰海岸ジオパーク中高生政策提案・実践コンテスト」に応募し、見事最優秀賞に輝きました。その後も続けていましたが、昨年度から地域のグループが青谷木綿の復活に取り組まれたので、青谷高校の青谷木綿に関する研究はここで終了し、次は因州和紙の研究に掛かっているということです。

以上は、私が調べたことを組み合わせて、想像したものです。確かな事実が見つかったら公民館にお知らせください。



山陰海岸ジオパーク中高生政策提案・実践コンテスト 最優秀賞のタペストリ

おわりに

石破茂さんが内閣総理大臣になり、安倍総理の頃から叫ばれている地方創生を目標に掲げられました。私は以前から再生とは一度ダメになったものを元に戻すことなので、そこまでは不十分だと思っていました。その上の創世が大切だと思います。中学卒業まで鳥取に住んだ石破さんのことだから、地方の暮らしが良くなるような政策の実現を期待しています。

でも、具体的に考え、実施するのは私たちです。